

北朝鮮ミサイル発射

ICBM、青森沖に落下

北朝鮮は29日午前3時18分ごろ、弾道ミサイル1発を発射した。日本政府によると約53分間で約千キロ飛行、青森県西方約250キロの日本の排他的経済水域(EEZ)に落下した。到達高度は4千キロを大きく超え過去最高。大陸間弾道ミサイル(ICBM)を高い角度で打ち上げたとみられ、米専門家は通常軌道なら飛距離は1万3千キロ以上で米全土が射程に入ると分析している。日米首脳は電話会談し、緊密に連携して北朝鮮に対する圧力を最大限まで高めていくことで一致した。

北朝鮮のミサイル発射は北海道を狙うICBM完成を目指す姿を鮮明にした。北朝鮮のミサイル発射は北海道を狙うICBM完成を目指す姿を鮮明にした。北朝鮮のミサイル発射は北海道を狙うICBM完成を目指す姿を鮮明にした。

来。トランプ米大統領は11月20日に北朝鮮のテロ支援国家再指定を発表していた。北朝鮮の金正恩朝鮮労働党委員長は、国際社会による制裁下でも米本土通常より高い角度で打ち上げた。日本は北朝鮮に厳重抗議した。安倍晋三首相は「断じて容認できない」と非難。政府は過去最長の射程との認識を示した。(共同)



7月28日に発射されたICBM「火星14」。朝鮮中央通信が配信した(朝鮮通信=共同)

北朝鮮の核・ミサイル開発を巡る最近の動き

- 2017年
- 1月20日 ▶ トランプ米大統領が就任
- 2月12日 ▶ 新型中距離弾道ミサイル「北極星2」発射
- 3月6日 ▶ 中距離「スカッドER」4発を同時発射、3発が日本の排他的経済水域(EEZ)内に落下
- 4月15日 ▶ 首都平壤で軍事パレード、新型ミサイル公開
- 5月14日 ▶ 新型中距離「火星12」発射
- 7月4日 ▶ 大陸間弾道ミサイル(ICBM)「火星14」を初めて発射
- 28日 ▶ 火星14発射
- 8月5日 ▶ 国連安全保障理事会が制裁決議
- 9日 ▶ 朝鮮中央通信がグアム周辺へのミサイル発射計画検討を報道
- 26日 ▶ 短距離3発を発射
- 29日 ▶ 火星12を発射、北海道上空を通過
- 9月3日 ▶ 6回目核実験
- 11日 ▶ 安保理が制裁決議
- 15日 ▶ 火星12を発射、北海道上空を通過
- 11月20日 ▶ トランプ氏が北朝鮮のテロ支援国家再指定を発表
- 29日 ▶ 北朝鮮が弾道ミサイル発射